

「うつせみ電気」
新電力事業計画書（架空）

「うつせみ電気」は、
空想の新電力会社です

2021 年 3 月

空想会社うつせみ電気

Utsusemi Electric Power Company Imaged

目 次

1. 会社概要	1
2. 目 的	1
3. 事業運営方針	1
3.1 顧客	
3.2 顧客数の初期設定	
3.3 初期設定顧客数の割振り	
3.4 電気使用量	
3.5 電気の仕入	
3.6 販売単価	
3.7 電気料金の計算および請求日仕入支払日	
3.8 太陽光電力の購入	
3.9 需給管理	
3.10 経理計算	
4. 初年度収益予想	4
4.1 顧客数	
4.2 売上	
4.3 仕入	
4.4 経費	
4.5 損益予想	
5. 長期計画	5
5.1 顧客数目標	
5.2 収益目標	
5.3 資本金	
6. まとめ	6

1. 会社概要

商 号 空想会社うつせみ電気

資本金 1,000 万円（架空）

設 立 2021 年 3 月 1 日

会計年度 3 月 1 日～翌年 2 月末日

代表社員 日暮 哉（仮名）

電力事業運用開始 2021 年 4 月 1 日

ホームページ <https://utsusemi.ymat-dream.com>

メールアドレス info@ymat-dream.com

2. 目的

「空想会社うつせみ電気」（以下、「うつせみ電気」）は、新電力とはどういうものを学ぶため、インターネット（以下、ネットと記載）上にのみ存在する会社です。

ネット上で登録を希望する顧客を対象に、架空の電気の売買を行い、それを通じて、新電力がどういうものか、どのように運営されていくのか、どれくらいの収益を上げることができるのかを勉強していきます。

3. 事業運営方針

上記の目的実現のために、「うつせみ電気」は以下に示す方針にもとづき架空新電力事業を運営します。

3.1 顧客

「うつせみ電気」は、空想の小売電気事業者として、日本全国を対象として、ネット上で電気の販売および太陽光発電などの自然エネルギー由来の電気の買取りを行います。

そのために必要な顧客はネット上での登録により獲得します。すなわち、「うつせみ電気」の趣旨に賛同し、登録した人を顧客とします。

3.2 顧客数の初期設定

顧客がゼロでは空想会社といえども運営していきません。といって、登録してくれる人を待っていたのでは、いつ始められるかも分かりません。ということで、ここではあらかじめ一定数の顧客（以下、初期設定顧客）があるものとして運営をスタートさせます。その数は、150 件（世帯）とします（この理由は後述します）。

3.1 で述べたサイトで登録していただいた方は「登録顧客」として、これに上積みしてい

きます。

3.3 初期設定顧客数の割振り

うつせみ電気は、事業運営範囲を全国としています。そのため、3.2 で述べた初期設定顧客 150 件（世帯）を全国の人口統計(総務省ホームページ)に基づいて、以下の式により、各都道府県別に割り振ります。

各都道府県別顧客数＝各都道府県別世帯数÷全世帯数×初期設定顧客数

各都道府県別の具体的な顧客数については、別途掲載します。

3.4 電気使用量

電気使用量については、原則顧客からの報告に基づきます。ただし、報告がない場合および初期設定顧客については、公表されている統計に基づき、各都道府県別 1 世帯当たりの電気使用量（家庭部門）を以下により計算します。

＜設定顧客の電気使用量計算方法＞

1 世帯当たりの設定使用量(kWh/月)＝都道府県別の使用量(家庭部門)÷世帯数÷12×0.9

上式の最後の係数（0.9）に特に意味はなく、控えめの数字として 9 掛けにしています。

3.5 電気の仕入

電気の性格上、販売する電力と同量を仕入れなくてはなりません。うつせみ電気は自前の発電所を持っていませんので、その全量（卒 FIT を除く）を電力卸売市場（以下、JEPX）から仕入れることとします。JEPX では、30 分ごとに卸価格が変動しますが、うつせみ電気は架空の会社で電気メーターがありませんので、スポット市場の 1 カ月単位の平均値を仕入価格とします。

3.6 販売単価

うつせみ電気の一般家庭向け電灯料金単価は、下記の通りとします。いずれも税込価格です。

基本料金	一律 990 円	
従量単価	120kWh まで	19 円/kWh
	120kWh 超 300kWh まで	25 円/kWh
	300kWh 超	29 円/kWh

基本料金については、大手電力会社を含め実在の小売電気事業会社の多くが契約アンペア数に応じて増額していますが、うつせみ電気では契約アンペア数に拘らず一律とします。従量単価は大手電力会社と同じ 3 段階制とします。

3.7 電気料金の計算および請求日・仕入支払日

電気料金は、顧客の電気使用量に基づいて計算し、これに再エネ賦課金を加算して、顧客に請求します。なお、発電所を所有する大手電力会社は、石油・石炭・天然ガスなどの原料価格の変動に応じて基準単価との差額を燃料調整費として徴収または還元していますが、うつせみ電気はすべての電気を JEPX から購入することになっているため、この費用は関係ないものとします。

各顧客の電気料金は、使用月末に締めて、翌月 25 日頃請求します。翌々月 20 日に回収したものとして処理します。

登録顧客については、登録時のデータおよび都度報告される使用量に基づいて計算します。もし、報告がない場合は、初期設定顧客と同様に都道府県別の電気使用量を世帯数で割った数字を使用します。

仕入れた電気料金、JEPX の売買手数料、託送料金等の支払いは、当該月末とします。再エネ賦課金は、顧客からの電気料金回収後の月末にしかるべき機関に納付します。

3.8 太陽光電力の購入

顧客が自宅の屋根や、屋外に設置（野立て）された太陽光発電設備を所有している場合は、売電量に相当する電気を、FIT（再生可能エネルギー電気の固定価格買取制度）継続の有無に拘らず、うつせみ電気が顧客に供給するものとします。

FIT 継続中の場合は、法律上すべての電気を送配電会社がい取りすることになっていますので、うつせみ電気は相当する電力を JEPX を通して仕入れます。

卒 FIT の場合は、直接「うつせみ電気」がい取りります。その買取価格は、1 kWh あたり 10 円(税込)とします。

3.9 需給管理

電気はその性質上、需要と供給を一致させる必要があります。そのためには専門知識と技術が必要ですので、空想のバランスンググループ(以下、BG)に、管理を委託します。BG の実態については、現時点では分からないことが多いので、とりあえず契約料 100 万円、需給管理費 2 円/kWh とします。

このほかに、予め設定した需要量と供給量に差が生じた場合、その差分（インバランス）に係る費用をペナルティとして BG に支払う必要があるようですが、ここではゼロとします。

3.10 経理計算

ほぼ 1 カ月ごとに、各顧客の電気使用量に基づく売上げおよび仕入れを計算します。その結果をホームページに掲載します。

4. 初年度収益予想

ここでは、初年度（2021 年 3 月 1 日～2022 年 2 月 28 日）の収益予想について、以下の条件で計算した結果をまとめています。以下、金額はいずれも税込で表示しています。

4. 1 顧客数

初年度の顧客数については、既述したように、当面 150 件（初期設定顧客）を確保したものととして、スタートします。150 件の顧客数を設定したのは、以下に示すように、初年度に税引後の純利益が出ることが予想されるためです。

なお、顧客は当面は電灯契約者（一般家庭）のみとします。

4. 2 売上

1 件(世帯)の電気使用量を 1 カ月 350kWh（各都道府県ごとの設定顧客数を加味した全国平均使用量）として計算します。したがって、1 年で 4,200kWh/顧客となり、全顧客数 150 件では 6,300 千 kWh/年を供給します。

これに基づいて、基本料金と従量単価から計算した売上高は 約 16,596 千円/年となります。これには、再エネ賦課金は含まれていません。

4. 3 仕入

上記の供給量を卸電力市場で仕入れると、仕入原価は、12,352 千円です。これには、JEPX の電気仕入原価、売買手数料、託送料金が含まれます。したがって、粗利は 4,244 千円となります。

<計算上の注意事項>

JEPX 電気仕入単価(2019 年度単純平均単価)： 10.03 円/kWh

JEPX 売買手数料： 0.033 円/kWh

託送料金平均単価（送配電会社 10 社の単純平均単価）： 9.54 円/kWh

4. 4 経費

うつせみ電気は架空の BG に入るため、BG 内での需給管理費として 1,260 千円を計上します。そのほかに BG 入会金（1,000 千円と仮定）と予備経費 1,500 千円、計 3,760 千円を経費として計上します。

うつせみ電気では行いませんが、実際の会社では、顧客への請求書の発行と送付などに係る費用、顧客からの入金に係る口座振替などの費用などが必要です。さらに、営業活動としての広告、チラシ作成、交通費なども発生すると考えられます。これらの費用をまとめて、当面 1,500 千円を計上します。これらを合わせた経費の合計は 3,760 千円となります。

なお、実際の会社としては当然のことながら、事務所を構える必要があり、その賃料のほ

か、机・いす・書類ケースなどの設備、インターネット環境の整備等の費用が必要であり、さらに人も雇わなければなりません。しかし、うつせみ電気は空想会社ですので、これらの費用については、必要のないものとして処理します。

このほかに、小売電気事業者には容量市場拠出金が科せられますが、これについては具体的な数字を出すのが難しいため、当面は計上しないこととします。

4. 5 損益予想

上記に基づく、初年度の損益予想をまとめると以下のとおりとなります（単位：千円、税込）。

売上高	16,596
売上原価	12,352
諸経費	3,760
営業利益	484
租税公課(消費税等)	44
税引前利益	440
税金（法人税等）	361
税引後純利益	79

注）再エネ賦課金は租税の一種で、顧客から徴収したのと同額を費用負担調整機関に納付することになっているので含んでいません。

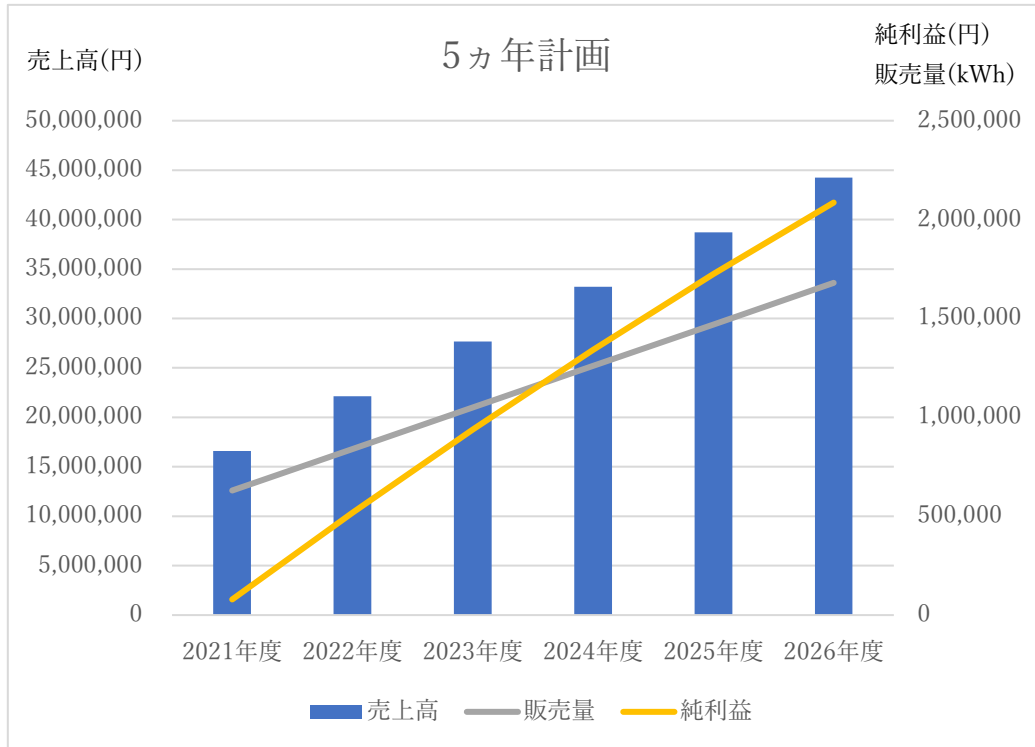
5. 長期計画

5.1 顧客数目標

初年度（2021年3月1日～2022年2月28日）中に新たな顧客50件の獲得を目指します。したがって、次年度は家庭用電灯の契約数を200件とし、以後毎年50件ずつ増やして、2026年には400件の契約の確保を目指します。

5.2 収益目標

上記に基づいた売上高と税引き後の純利益の推移を図に示します。



5.3 資本金

資本金については、現在の資本金 1,000 万円をできるだけ維持します。これは、1,000 万円を境に県民税・市民税の均等割りが増加するためです。しかし、どうしても債務超過など資金繰りで増資が必要になれば、ホームページにて募集（架空）します。

6. まとめ

うつせみ電気は、あくまでも空想の会社であり、新電力とは何かを勉強するために運営しているものです。単に知識を得るだけでなく、インターネット上での架空の電気取引を通じて、新電力がどういうものかをできるだけ実際に近い形で示すことができればと考えています。

ただ、まったくの素人がにわか勉強でやっていますので、専門家の方からみれば、間違いや説明不足の点などがたくさんあると思います。その場合は、遠慮なくご指摘をお願いします。

(完)

< 参考資料 >

都道府県別顧客数と使用量の設定

	顧客数	1か月の使用量(kWh)		
		統計値	設定値	合計設定使用量
北海道	7	381	342	2,394
青森県	2	500	450	900
岩手県	1	449	404	404
宮城県	3	356	320	960
秋田県	1	521	468	468
山形県	1	462	415	415
福島県	2	462	415	830
茨城県	3	420	378	1,134
栃木県	2	466	419	838
群馬県	2	400	360	720
埼玉県	10	350	315	3,150
千葉県	7	329	296	2,072
東京都	19	320	288	5,472
神奈川県	11	330	297	3,267
新潟県	2	466	419	838
富山県	1	621	558	558
石川県	1	598	538	538
福井県	1	836	752	752
山梨県	1	425	382	382
長野県	2	449	404	808
岐阜県	2	513	461	922
静岡県	4	474	426	1,704
愛知県	8	377	339	2,712
三重県	2	453	407	814
滋賀県	1	491	441	441
京都府	3	388	349	1,047

大阪府	11	381	342	3,762
兵庫県	6	293	263	1,578
奈良県	2	464	417	834
和歌山県	1	477	429	429
鳥取県	1	436	392	392
島根県	1	515	463	463
岡山県	2	434	390	780
広島県	3	387	348	1,044
山口県	2	437	393	786
徳島県	1	522	469	469
香川県	1	503	452	452
愛媛県	2	443	398	796
高知県	1	368	331	331
福岡県	6	366	329	1,974
佐賀県	1	553	497	497
長崎県	2	377	339	678
熊本県	2	470	423	846
大分県	1	457	411	411
宮崎県	1	370	333	333
鹿児島県	2	370	333	666
沖縄県	2	345	310	620
合計	150	20,805	18,705	52,681

統計値出典：https://uub.jp/pdr/eg/he_2a.html